

令和5年秋期 釜利谷地区推進連絡会要旨

1 日時

令和5年11月26日(日) 14:00~16:15

2 場所

釜利谷地区センター 体育室

3 参加者

(地域側)自治会等地域団体関係	59名
(支援チーム、その他行政側)	
区役所	12名
区社会福祉協議会、地域ケアプラザ	8名
学校関係	6名

4 内容

(1) パネルディスカッション

ア テーマ

第1部社明大会の基調講演(テーマ:“子育て”を地域で支援する)を受けて
“子育て”を地域でどのように支援するか

イ パネラー

釜利谷中学校長、釜利谷小学校長、主任児童委員、釜利谷在住養育者、地域
活動団体代表、こども家庭支援課担当係長

ウ 内容

【第1部の基調講演を受けて、感じたことなど】

- 釜利谷中学校長
 - ・ こども達に対しては、1つ1つこと細かに指示するよりも、自発性を引き出すような伝え方をしてもらいたいと思う。現在の教育は、知識を暗記することよりも、身に付けた知識や技能を組み合わせる判断できるようになることを目指している。
 - ・ 不登校だったり、支援が必要なこどもについて、地域の皆様にも意識してもらえるとありがたい。幼児の段階からでも地域とのつながりができるような仕組みがあればいいと思う。
- 釜利谷小学校長
 - ・ 地域の方からは、こどもが挨拶ができている、あるいは挨拶ができていない、と両方の声を聞く。学校では、しっかり挨拶をしよう、と指導しており、教師が見ている姿は、しっかり挨拶できている。しかし、見えないところではどうかかわからない面もある。
 - ・ こども達の行動については、繰り返し粘り強く関わるようなやり方を、学校や家庭だけではなく地域の方にもお願いできればと思う。
- 主任児童委員(子育て支援者)
 - ・ 10月21日のいきいきフェスタでは、中学生ボランティアと一緒にこどもの

遊び場を設けた。中学生たちは、積極的かつ自発的にポスターや看板の作成、着ぐるみを着ての活動などに取組んでいた。

- ・ 当日は短い時間ではあったが、この経験をしたことで、次のボランティア活動へのハードルが低くなってほしいと思っている。

○ 進行役

- ・ 民生委員の全国大会の際に、他区の会長たちと話したところ、区民まつりで民生委員や主任児童委員がブースを出している区はほかになく、金沢区は大変良い区だと感じた。

○ 釜利谷在住養育者(子育てサークル『金沢区ママ』代表)

- ・ 元々幼稚園だった建物を借りて、ルンビニーつながりの庭を運営している。成長して体が大きくなって居場所がなくなったとのこどもの声を聞いて、夏休みのこどもの居場所づくりから始めた。未就園児の居場所や宿題広場などを運営している。
- ・ 悩んでいることや課題について、こども自身で正解に辿り着いてもらえれば良いと思っている。自ら選択して主体的に育ててほしいと思う。

○ 地域活動団体代表(夏山遊ぶ会)

- ・ 地域でのつながりは、こどもにとって、教師と生徒や、親と子、友達同士といった縦や横とは違う関係であり、重要だと思う。
- ・ これから、どうやってコロナ前の活動の状況に持っていくかが課題だ。また、自分のような支援者の後継をどう確保するかが重要だ。パソコンなどの機材をどのように揃えるかも課題で、学校の持っているものを地域で活用することはできないか。

○ こども家庭支援課担当係長

- ・ 本市のすべての小学校に放課後キッズクラブが設置されているが、地域の方にも来ていただき、こどもが自分で考え工夫してできるように支えてほしい。こどもが自ら育つような働きかけをしてほしいと思う。
- ・ こどもに対しては、必ずしも、大人がやってあげなければならないということはないと思う。
- ・ 金沢ささえあいプラン策定の一環として、中学生向けに、地域を知ろうといった内容のワークシートを作成した。区のホームページからダウンロードできるので、活用してほしい。

【会場からの質問・意見】

○ (会場からの質問・意見1)

- ・ 講演の中で、かつて小学校1年生だけで地下鉄に乗って移動したという事例が紹介されたが、現在の状況では難しいのではないか。治安の悪化や、世の中の考え方が変わったことを踏まえて、地域で何ができると思うか。

○ 助言者

- ・ 危険な状況は確かにあり、状況に応じていろいろと考えることが必要だが、

こどもの思いを信じて受止めることが大事だ。

- (会場からの質問・意見2)
 - ・ 今後、パネラー等に、直接相談をしてもかまわないか。
- こども家庭支援課担当係長
 - ・ 放課後キッズクラブ：普段から関係があれば直接相談してかまわない。連絡をいただいて区がとりもつこともできる。
- 釜利谷中学校長
 - ・ 副校長に相談してほしい。
- 釜利谷小学校長
 - ・ 場所の利用については、学校開放の団体に相談してほしい。機材については、まずは副校長に相談してほしい。
- 主任児童委員(子育て支援者)
 - ・ 直接相談で結構です。
- (会場からの質問・意見3)
 - ・ 不登校のこどもや家族に対しては、暖かい目で見てほしい。共感まではできなくても、地域の方々に理解してもらうことが大事だと思う。

(2) 第2部まとめ

- 進行役
 - ・ 言うは易し行うは難しで、一度にいつぺんに変えることは大変だ。
 - ・ 御自分の町会でも、ちょっとでも採り入れてもらえればと思う。

5 全体コメント

- 福祉保健センター担当部長
 - ・ 本市の調査でも、子育てに不安や負担を感じている方は多い。
 - ・ 釜利谷地区では、たくさんのかかわりがあり、安心できる居場所づくりが進み、こどもが健やかに育つ環境が整っていると感じた。
さらに、大人がこどもにかかわるだけでなく、こどもの力を信じて支えることが重要だと思う。
 - ・ 本市においても、子育てしたいまち次世代を共に育むまち ヨコハマの実現を目指して取組んでいる。

6 閉会

- 連合副会長
 - ・ 社会を明るくする運動と地区推進連絡会の同時開催は、今回初めての試みだった。
 - ・ いつもはこども達とともに動物園バックヤードツアーを行っていたが、コロナ禍で途切れた。
 - ・ 子育てと子育ちは、一文字違うだけだが、大きな違いだ。